

会 議 録

- ・ 会議の名称 富士川町介護保険運営協議会
富士川町地域包括支援センター運営協議会
(合同会議)
- ・ 会議日時 令和2年8月4日(火) 午後7時30分から午後8時30分
- ・ 開催場所 保健福祉支援センター 1階保健指導室
- ・ 出席者 委員14名(欠席者0名) 事務局4名 傍聴者1名
- ・ 議題 介護保険事業状況報告について
地域包括支援センター事業状況報告について
ニーズ調査・在宅介護実態調査結果報告
第8期介護保険事業計画
その他
- ・ 運営協議会内容
 - 1 開会
 - 2 役員選出
 - ・ 介護保険運営協議会 会長 深澤純
 - 3 会長あいさつ
 - 4 議事
 - (1) 富士川町介護保険事業状況報告
 - (2) 地域包括支援センター事業報告
 - (3) ニーズ調査・在宅介護実態調査結果報告
 - (4) 第8期介護保険事業計画
 - (5) その他
 - 5 閉会

・ 発言の内容

議事

(1) について

事務局説明

< (1) についての質疑応答 >

介護保険事業状況報告等については質疑なし

(2) について

事務局説明

< (2) についての質疑応答 >

地域包括支援センター事業報告等については質疑なし

(3) について

事務局説明 サーベイリサーチセンター平田さま

< (3) についての質疑応答 >

委員： 健康な人でも介護サービスを利用している人でも外出する時の支援が心配な上、要望が高いが、P90 の介護保険サービス以外の支援のサービス利用状況をみても、移送サービスを利用しているかというところがかなり低い。要望が多いのにサービスの利用実態が低いのはどういうことが考えられるか。

事務局： 介護保険のサービスの中では、移送サービスだけでなく、福祉タクシーといった介護タクシーを使って移動されたり、町でのデマンドバスを利用したりといった現状があります。タクシーとなると、費用が高く、定期的に利用するのは難しい。今、社会福祉協議会で生活支援サポートの送迎サービスを対象者の限定して行っている。また、実際に支援にあたっているケアマネジャーから高齢者が利用しやすいような移送支援がないかという意見もある。地域ケア会議では、社会福祉協議会で行っているサポーター支援の内容の見直しやデマンドバスの利用方法かどうかとの検討を進めているが、現状は利用しやすいところまではまだ考えていないが、外出支援や移動のサービスの必要性は感じています。

委員： P9の何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていないという方が多いということだが、認知症も増えている中、初期集中支援チームの実績はなしとあったが初期集中支援チームとは医療と結びついていない認知症のかたを拾い上げていくものだと思うが、初期集中支援チームが活動できるような取り組みが必要なのではないか。

また、P76の高齢者が快適に暮らすために重要な施策の設問（問55）で、病院や診療所などの医療機関の充実、ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実を選択肢があるが、今現在、在宅看取りを推進している中で、在宅の往診医と連携する訪問看護ステーションの充実などの選択肢があったらどんな調査結果になっていたかなと思いました。

事務局： 認知症初期集中支援チームについては、平成30年度富士川町は1件チームとして活動していたが、昨年度は0件、峡南地域でも1件でした。認知症初期集中チームももっと活発に活動できるように、対象者や実施の方法について5町で検討を進めている。ただ、認知症の相談については、地域包括支援センターにも多く寄せられ、支援チームにつながるケースは昨年0件だったが、直接地域の近くの専門医の峡西病院やサポート医峡南病院の先生につなげたり、保健所の精神相談員に相談したり、今まで連携を図っていた専門の機関に相談をさせてもらいながら支援をしている現状です。せっきくの初期集中支援チームもより活動できるように考えています。

P76の設問（問55）については、在宅看取りを推進していく中で、訪問看護師の方には在宅医療といくところで生活を支えて、最近では予防という観点から訪問看護で関与していただくようなケースもあります。今回は項目には入っていませんでしたが、次回の参考にさせていただきます。

(4) について

事務局説明

< (4) についての質疑応答 >

第8期介護保険事業計画については質疑なし

(5) その他

なし

以上